

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	一般社団法人徳洲会 徳洲会体育館777体育館 移転新築工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県鎌倉市苗田一丁目2-23	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	328 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,355 時間/年(想定値)
建物用途	集会所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2023年6月30日
敷地面積	4,250 m ²	作成者	坪井工業(株)一級建築士事務所
建築面積	2,375 m ²	確認日	2023年6月30日
延床面積	5,222 m ²	確認者	坪井工業株式会社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 87%

③上記+②以外の: 87%

④上記+: 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	特に無し	その他 特に無し
Q1 室内環境	F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境に十分配慮している。	Q2 サービス性能 補修必要間隔の長い仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。また、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。
LR1 エネルギー	断熱仕様を高くし建物の熱負荷抑制に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓や、擬音装置などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。
		Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
		LR3 敷地外環境 照明設備は周辺環境へ影響が大きいものは使用しない。また、LED器具を使用し省エネルギーに配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される